

## 磐田サッカー協会

加盟チーム数 67チーム  
加盟人数 約2500名  
代表者名 磐田サッカー協会会長  
安間 英雄

設立年 昭和56年から磐田  
サッカー協会規約を実施。設立は  
それ以前。

### (1) 年間行事

- ・社会人（第1種）  
磐周社会人サッカー大会
- ・高校（第2種）  
磐田市長・市議長杯サッカー大会  
磐田・袋井サッカーフェスティバル
- ・少年（第4種）  
磐田1年生サッカー大会  
磐田2年生サッカー大会  
磐田3年生サッカー大会  
磐田4年生サッカー大会  
磐田5年生サッカー大会
- ・磐田サッカー協会総会（5月）
- ・磐田サッカー協会役員会  
（5・7・9・11・1・3月）

### (2) 活動状況

磐田サッカー協会の常時活動として、奇数月にヤマスタジアムにおいて役員会を実施している。また、年1回の総会は、毎年5月に行っている。大会やトレセン活動については、各種別ごとに実施している。

#### ・社会人（第1種）

社会人の大会は、磐田市を中心として、袋井市や掛川市のチームも参加して磐周社会人サッカー大会を行っている。今年で29回目を迎える。

大学では、静岡産業大学の活躍はすばらしい。大会での好成績はもちろんであるが、高校女子の全国大会の運営や審判や技術指導等で地域へ大きく貢献している。

#### ・高校（第2種）

磐田市長・市議長杯サッカー大会を毎年冬休みである12月末に行っている。今年で26回目を迎える。また、3月末には、磐田・袋井サッカーフェスティバルを実施しており、県内外からチームを招待して地元のチームの強化を図っている。

また、磐田東高校は、東海プリンスリーグに加入するなど大きな成果をあげている。ジュビロユースは、連続して全日本クラブユースに出場し、大変活躍している。トレセン活動では、高校1年生の中から選手を選考し、半年間技術面での育成を図ってい

る。5年前から九州遠征を実施し、強化に努めている。

#### ・中学（第3種）

磐田サッカー協会としての大会はないが、天竜東地区として御前崎までの広い範囲で大会を実施している。中体連とクラブは別々に大会を行っているが、冬に行われる中日旗サッカー大会では、中体連チームとクラブチームとの交流を図るため、一緒に大会を実施している。トレセン活動は、中体連チームの中で選手を選考し、磐田市と袋井市を併せて磐田トレセンとして、学年ごとに活動している。

#### ・少年（第4種）

磐田サッカー協会の活動として、小学校1年生～5年生まで学年ごとに大会を行っている。今年で7回目を迎える。小学校1・2年生は、大会というよりも交流試合形式で実施している。学年ごとに大会が行われるため、毎週のように大会が行われ、少年団の活動は大変活発である。一昨年に竜洋FCが全日本少年サッカー大会静岡県予選において見事に優勝し、全日本の大会に出場したことは、記憶に新しい。磐田地区のチームが県大会で優勝するのは今までになく、歴史に残るすばらしい快挙である。



2007年 磐田4年生サッカー大会  
優勝 バディFC 準優勝 豊岡FC  
3位 テンマSC 福田SSS

#### ・女子（第5種）

全日本高等学校女子サッカー選手権大会が磐田市で開催されるようになり、女子サッカーが盛んに

なってきた。磐田東高校・磐田北高校・ジュビロ磐田レディース・ヤマハジュビロレディース・静岡産業大学磐田レディースなどのチームが活動し、各大会で好成績を取っている。今年の中日本高等学校女子サッカー選手権大会に磐田東高校が東海地区第3位で出場し、大会を盛り上げた。地元の女子小学生や中学生に大きな夢を与えている。

・シニア（50歳以上）

シニアの活動として一年を通じて芝生の上で練習を行い、技術や体力の維持・親睦を目的として活動している。練習には、50歳未満の方も参加している。シニアリーグにも参加し、練習の成果を試す活動もしている。リーグ戦では、交代選手が多ければ多いほどありがたいので、参加していただける選手の方を募集している。

・磐田トレーニングセンター韓国遠征

今年は実施していないが、昨年まで数年にわたって小学6年生と中学2年生を対象に、韓国遠征を実施してきた。「日韓共同未来プロジェクト磐田市日韓交流事業」という名称で、磐田市役所職員と磐田サッカー協会の指導者が協力して選手の日程調整や試合の運営を行った。韓国のチームの特徴は、中学生では、身体が大きく、スピードがある選手が多い。ゲーム中の運動量も豊富で、磐田トレセンの選手は、スピードと運動量で劣っていると感じた。技術的には磐田トレセンの選手の方が優れている面もあり、中学年代での強化が必要だと感じた。国際試合であり、当初は落ち着いてプレーできなかったが、今では物怖じすることなくプレーできるようになった。普段では経験できない国際試合を経験し、他国の選手と触れあうことは、小中学生にとって貴重な経験になったと感じられた。

・その他

地元のジュビロ磐田からは、多大な御協力をいただいている。幼稚園、小学校、中学校等では、サッカーの技術指導をしていただいている。また、小・中・高の大会では、決勝戦をヤマハスタジアムで実施させてもらっている。ホームゲームの観戦でも配慮していただいている。トップチームは、昨年J2降格の危機であったが、見事に残留を決めることができた。今年は、開幕当初こそ足踏みしたが、徐々に順位を上げている。後半戦の闘いに期待し、磐田サッカー協会として心から応援していきたい。

(3) 磐田サッカー協会役員一覧

No	役 職	氏 名
1	会 長	安間 英雄
2	副 会 長	石川 操
3	副 会 長	河島 直明
4	副 会 長	三浦 哲治
5	副 会 長	山本 好夫
6	理 事 長	駒形 一路
7	副 理 事 長	山田 智章
8	理 事	大石健太郎
9	理 事	大石 光治
10	技 術 部 長	新井 達雄
11	〃 副部長	永田 厚
12	審 判 部 長	鳥居 節夫
13	〃 副部長	鳥居 節夫
14	ジュビロ磐田	壺下 直之
15	社 会 人 部 長	瀬下 俊久
16	大 学 部 長	斉藤 智洋
17	高 校 部 長	松浦 克行
18	中 学 部 長	新井 達雄
19	少 年 部 長	佐藤 智洋
20	女 子 部 長	波多野雅士
21	女子高校部長	北野 宗克
22	シ ニ ア	鈴木 康之
23	事 務 局 長	壺下 直之
24	事 務 局 員	井浪 務

